

科目名	授業担当者	所属	
看護管理と医療安全(1)	千葉 直美	中通総合病院	
看護管理	福岡 優子	中通総合病院	
開講時期 : 中期	単位数 : 1 単位	時間数 : 30 時間(看護管理 16 時間)	
授業の目的			
看護を組織として機能させるための看護管理の目的や機能を学び、将来、組織の一員として自律的に動ける基礎能力を養う。			
授業の概要			
看護は一人では完結しない。複数の専門職が連携し、24時間365日絶え間なく質の高いケアを提供するためには、バラバラの個を一つにまとめ上げる「組織化」が必要となる。本講義では、なぜ看護師に「管理」の知識が必要か、マネジメントの要素、自分の役割と管理者の役割の相互作用の理解などを学ぶ。この講義を通じて、病院という大きなチームの中で自分がどのように輝き、貢献できるのかのヒントを見つけてほしい。			
受講上の注意・事前学習の内容			
前日までに資料を送信します。グループワークの際に、前後・左右の人と5～6人で話し合えるように移動をお願いします。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	看護におけるマネジメント	講義・演習	千葉
2	看護ケアのマネジメント	講義・演習	千葉
3	看護職としてのセルフマネジメント	講義・演習	千葉
4	看護サービスのマネジメント①	講義・演習	千葉
5	看護サービスのマネジメント②	講義・演習	福岡
6	看護サービスのマネジメント③	講義・演習	福岡
7	マネジメントに必要な知識と技術	講義・演習	福岡
8	看護を取り巻く諸制度	講義・演習	福岡
	試験		
テキスト			
系統看護学講座 専門 看護管理 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法			
筆記試験(看護管理と医療安全 100 点満点中の 50 点)			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります

科目名 看護管理と医療安全(2) 医療安全	授業担当者 佐藤 美幸 齊藤 由美子	所属 中通総合病院 中通総合病院	
開講時期 :前期～中期	単位数 :1 単位	時間数 :30 時間(医療安全 14 時間)	
授業の目的 医療の現場に潜む危険を認識し、回避する方策と患者安全上すべき事を理解し、医療従事者として患者および自らの安全を守ることの重要性を学ぶ。			
授業の概要 看護師は医療サービスの最終行為者となることが多く、医療サービスの提供の場である病院では様々な危険が存在する。医療事故防止は、組織的な安全のためのシステム作りと、看護師が危険を予知し安全のための対策を実施することが重要である。リスクマネジメントは、医療事故の未然防止・再発防止、苦情の防止、医療訴訟対応といった連続的な関わりに対して取り組まれるものであり、その目的は人権の尊重と医療の質の確保と質の向上である。日本の医療安全対策の動向や過去の医療事故など具体的事例をもとに参加型授業形式とする。			
受講上の注意・事前学習の内容 テキスト、講義資料より事前学習・復習に取り組む。テキスト内の「用語解説」等を活用し、用語の理解に努めてほしい。講義中に紹介する情報を参考に興味を持ち、積極的な講義への参加が望ましい。講義の内容によってはグループワークを行うこともある。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	医療安全と看護理念、看護学生の実習と安全	講義	佐藤
2	医療安全への取り組みと医療の質の評価・医療事故後の対応	講義	佐藤
3	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント	講義	佐藤
4	患者・家族との協同と安全文化の醸成	講義	佐藤
5	診療の補助に関する安全管理	講義	佐藤
6	看護業務に関する医療事故と安全対策 地域における在宅療養者の安全対策	講義	佐藤
7	看護師の労働安全衛生上の事故防止(職業感染と予防策)	講義	齊藤
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 医療安全 医学書院 川村治子著 医療安全ワークブック 第5版 医学書院			
参考書・指定図書			
評価の方法 授業への参加態度と取り組み状況・筆記試験から総合的に評価する。 医療安全と災害看護 100 点満点の中の 50 点 (医療安全:40 点、感染対策:10 点)			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります